

航空學談話會記事

(第八十八號より續く)

第三百三十一回 昭和六年十一月三十日 (於航空研究所會議室) (出席者 17 名)

- 講 演 (1) Des idées de M. Rateau á la Suralimentations des
 mateure 山 下 誠 一
- (2) (a) 翼布用としての硝化綿塗料
 (b) デュラルミン用塗料 厚 木 勝 基
- (3) (a) 耐火液注入木材の強度試験 {井 口 澤 常 雄
 (b) 四モーメントの法則 井 口 常 雄

第三百三十二回 昭和六年十二月十四日 (於航空研究所講堂) (出席者 34 名)

- 講 演 (1) 風洞の壁が模型の揚力係数に及ぼす影響(續) 佐々木 達 治 郎
- (2) 空中寫眞測量 田 中 館 愛 橋
- (3) 歸 朝 談 田 中 敬 吉 一
- (4) 歸 朝 談 福 田 慎 一

以上終了後會議室に於て下記の方々の歓迎並に送別晚餐會を開催す。

歓迎 田中館愛橋君、福田慎一君、田中敬吉君。

送別 橋本賢輔君。

第三百三十三回 昭和七年一月二十五日 (於航空研究所講堂) (出席者 35 名)

- 講 演 (1) 第三義勇飛行艇の機體構造に関する實驗概要 岩 本 周 平
- (2) 飛行機主翼の屈撓及び振り試験に就て 山 本 峰 雄

第三百三十四回 昭和七年二月八日 (於航空研究所講堂) (出席者 28 名)

- 講 演 (1) (a) 表面の Smoothness 測定の一方法
 (b) 球後方の煙の流れ(活動寫眞) 石 井 定 二
- (2) 拋物面の音響學的性質に就て(其の一) {佐 藤 孝 正 明
 (3) 軸壓及材質摩擦を受ける車軸の限界速度 妹 澤 克 惟

第三百三十五回 昭和七年二月二十二日 (於航空研究所講堂) (出席者 27 名)

- 講 演 (1) (a) 補助翼のきょと其の設計式
 (b) 荷重試験中の「ヂャツキ」に依る過負荷 小 川 太 一 郎
- (2) (a) プロペラ廻轉面前後の風速分布
 (b) プロペラの効率最大の條件 河 田 三 治

第三百三十六回 昭和七年三月十四日 (於航空研究所會議室) (出席者 11 名)

- 講 演 (1) 電氣計器の遮磁壁に就て 奥 村 連 次
- (2) マグネシウムと其の合金に就て 片 山 誠 之
- (3) 最低共沸混合物の理論による無水酒精の製造に就て 桑 田 勉

第三百三十七回 昭和七年四月四日 (於航空研究所講堂) (出席者 24 名)

- 講 演 (1) 滿洲に於ける航空器材の狀況 柳 成 利
- (2) 歸 朝 談 (活動寫眞映寫) 南 角 長 英
- (3) 歸 朝 談 片 岡 正 治

以上終了後會議室に於て上記歸朝者諸氏の歓迎並に近く出張さるゝ

管の河田三治君の送別を兼ね晩餐會を開催す。

- 第三百三十八回 昭和七年四月十一日 (於航空研究所會議室) (出席者 10 名)
- 講 演 (1) 電氣火花の研究… 小 林 辰 男
- (2) 雲の光透過度に就て… 坂 山 大 三
- 第三百三十九回 昭和七年四月二十五日 (於航空研究所講堂) (出席者 24 名)
- 講 演 (1) マグネシウムとアルミニウムに就て … 後 藤 正 治
- (2) 空中に於ける飛行機の燃料消費量と航線距離の関係 (二三の
實驗 … 繪 野 澤 静 一
- (3) (a) 發動機の種々の吸氣管に於ける空氣の流動(活動寫眞) … { 栖 原 豊 太 郎
佐 藤 直 三 郎
佐 藤 武 三 郎
- (b) 氣箭の冷却フィンに於ける熱傳導の二三の問題
- (c) 氣體流出の壓力及び面積が變化する場合の流出係數に就て 栖 原 豊 太 郎
- 第三百四十回 昭和七年五月九日 (於航空研究所會議室) (出席者 26 名)
- 講 演 (1) 潤滑油の水素添加 … 田 中 芳 雄
- (2) ピストンの運動による渦に就て … 竹 村 勘 丞
- (3) Harold T. Cooper, The Effect of Physical Defect on
Flying ability—J. of Aviation Medicine, No. 3, Vol.
II. 1931. … 田 中 寛 一
- 第三百四十一回 昭和七年五月二十三日 (於航空研究所講堂) (出席者 39 名)
- 講 演 (1) 飛行機の振動に就て… 田 中 館 愛 橘
- (2) (a) 複葉の揚力の近似計算に就て
- (b) 單葉の揚力に及ぼす地面の影響に就て … 谷 一 郎
- (3) 毎秒六萬回の早さにて撮影したる音波の活動寫眞(映寫)… { 栖 原 豊 太 郎
佐 藤 直 三 郎
佐 藤 井 武 三 郎

(以下次號)